



八重根から見た夕景 横間



東京都八丈町勢要覧  
「はちじょう2011」

平成24年3月 印刷・発行

編集・発行 八丈町企画財政課企画情報係

東京都八丈島八丈町大賀郷2345番地1

電話 049963-2-1121

URL <http://www.town.hachijo.tokyo.jp/>

印刷 シンソー印刷株式会社

東京都新宿区中落合一丁目6番8号

電話 03-3950-7221

東京都八丈町勢要覧

 はちじょう 2011

HACHIJO 2011

# 目次

# CONTENTS



大賀郷園地

- 黒潮に浮かぶ島・八丈島 ..... 3
- 花と緑と温泉の島 ..... 5
- 歴史と文化を生かす町 ..... 9
- クリーンアイランドを目指す町 ..... 11
- 海洋を生かす町 ..... 15
- 住民が主役の町 ..... 16
- みどり豊かな町 ..... 17
- あたたかい町・文化の香り高い町 ..... 18
- いきいきとした町 ..... 19
- 明るい町 ..... 20
- 島への交通 ..... 21
- 町のシンボル(紋章・町の鳥・町の花・町の木・町の魚) ..... 22
- 交流 ..... 23
- 主なできごと2011 ..... 24
- 八丈島 三つの始祖伝説 ..... 25
- 町民憲章 ..... 26



八重根

# 黒潮に 浮かぶ島 八丈島



八丈島は東京の南方海上287kmに位置し、面積69.52km<sup>2</sup>のひょうたん型をした島です。地形的には富士火山帯に属する火山島であり、南東部を占める三原山(700.9m)と北西部を占める八丈富士(854.3m)から成り立っています。集落は、島の南東部に位置する三原山を中心とする榎立・中之郷・末吉で形成される坂上地域と、島の経済活動の中心地である大賀郷・三根で形成される坂下地域があります。

また八丈小島は、八丈島の北西7.5kmの海上にあり、島のほぼ中央にあたる太平山(616.8m)から成る面積3.10km<sup>2</sup>の火山島ですが、昭和44年6月に全員離島し、現在は無人島です。

気候は黒潮暖流の影響を受けた海洋性気候を呈し、年平均17.8℃、高温多湿で雨が多いのが特徴です。国勢調査の人口は昭和35年11,818人、同40年11,315人、同45年10,316人、同50年10,318人、同55年10,244人、同60年10,024人、平成2年9,420人、同7年9,476人、同12年9,488人、同17年8,837人、同22年8,231人です。産業は農業(花き観葉植物栽培)と沿岸漁業を基盤としています。商工では焼酎やくさや加工、伝統的工芸品の本場黄八丈織などのほか、各種の観光関連サービス業が中心となっています。



## HACHIJOJIMA, AN ISLAND AFLOAT IN THE KUROSHIO(BLACK CURRENT)

Hachijo-jima is located in the Pacific Ocean 287km south of Tokyo. It is a gourd-shaped island with an area of 69.52km<sup>2</sup>. It is a volcanic island belonging to the Fuji volcanic zone, consisting of Mt. Mihara(700.9m) in the southeast and Hachijo Fuji(854.3m) in the northwest.

The town is divided into “Sakaue”and“Sakashita”areas, with Sakaue encircling Mt. Mihara and containing the Kashitate, Nakanogo, and Sueyoshi communities, while Sakashita is the economic hub of the island, including the communities of Okago and Mitsune.

Hachijo Kojima, a small volcanic islet, lies 7.5km north west of Hachijo-jima. With Mt. Taihei(616.8m) in its center, it has an area of 3.10km<sup>2</sup> and a circumference of 8.70km. All residents were relocated from the island in June 1969, and it remains uninhabited.

Bathed by the warm Kuroshio(the Black / Japan Current), Hachijo-jima boasts an average annual temperature of 17.8℃, with climate characterized by high temperatures, high humidity, and copious amounts of rain.

The population is slowly decreasing, with census figures showing 11,818 peoples in 1960; 11,315 in 1965; 10,326 in 1970; 10,318 in 1975; 10,244 in 1980; 10,024 in 1985; 9,420 in 1990; 9,476 in 1995; 9,488 in 2000; 8,837 in 2005; 8,231 in 2010.

Main industries are agriculture(horticulture) and coastal fishing. Local businesses produce Shochu( distilled spirits), Kusaya, and Kihachijo(silk) woven handicrafts. Various kinds of service enterprises related to the visitor industry are also central to the island's economy.



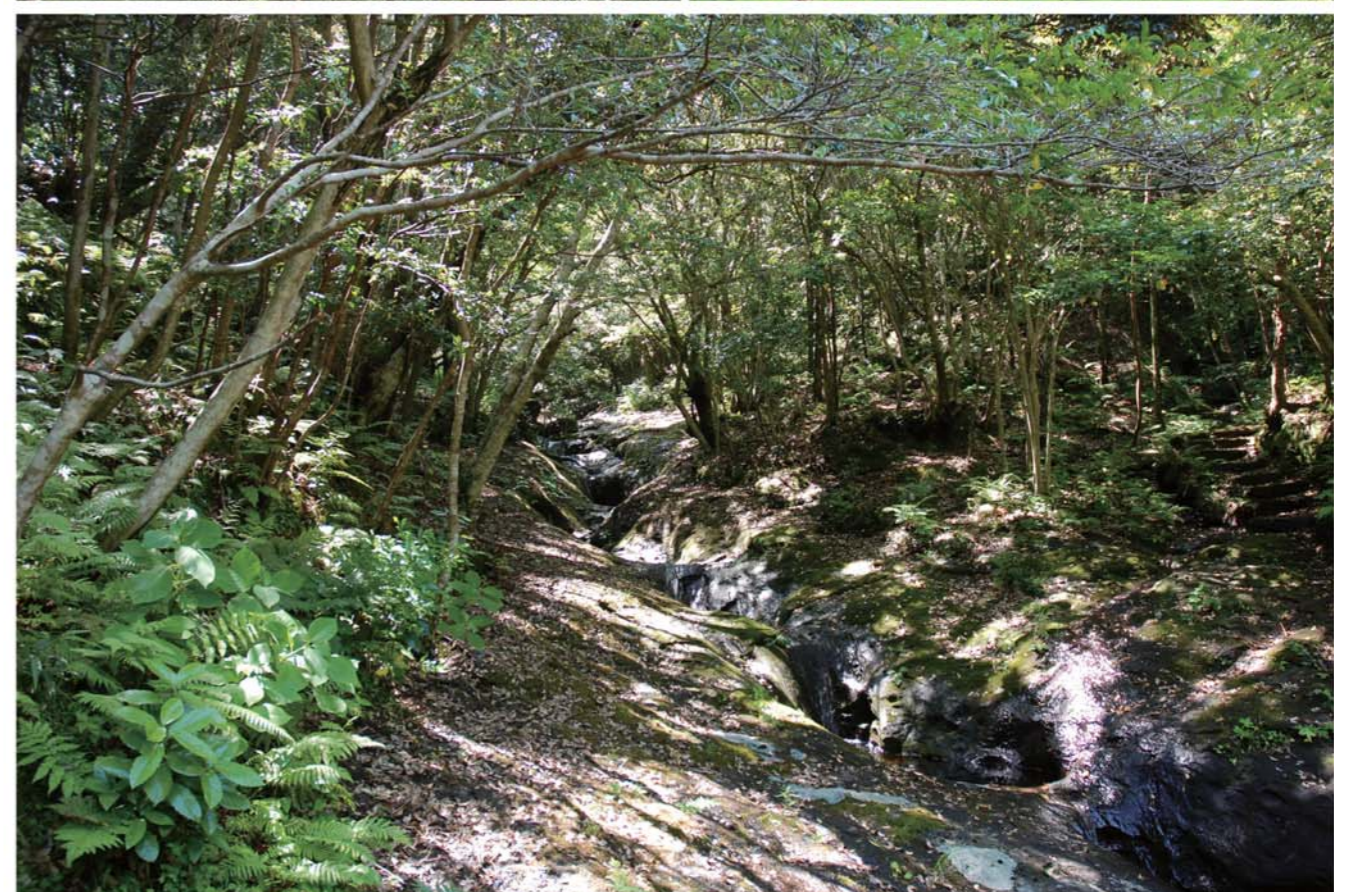
# 花と THE ISLAND OF FLOWER AND GREEN, HOTSPRING WATER



## 緑と温泉の島



島を原色に彩る四季の花々  
全ての生き物にやさしい緑の楽園



# 心と体を癒やす 地球の恵み 温泉



ブルーポート・スパ ザ・BOON



中之郷尾越温泉 ~裏見ヶ滝温泉~



足湯きらめき



末吉温泉 ~みはらしの湯~



洞輪沢温泉



樫立向里温泉 ~ふれあいの湯~



中之郷温泉 ~やすらぎの湯~



# 歴史と文化を 生かす町



八丈太鼓や黄八丈に限らず、この島の各地に残る遺跡、伝承されてきた歴史、そして有形無形の文化はすべて私たちのかけがえない財産です。歴史と文化を探求すればするほど、島の貴重な財産としての価値がいっそう高まり、これを生かすことが、必ず「地方の時代」における島の発展につながります。



# クリーンアイランドを 目指す町



## ■ 八丈島地熱発電所

全国離島初、しかも東京電力(株)としても初めての地熱発電所が平成11年3月に運用を開始しました。地熱発電は出力を変化させることが難しいため、ベース電源(3,300kw)として運転を行い、八丈島の電力需要に合わせて既存のディーゼル発電機を追加運転させています。また、発電所からの熱供給を受ける農業用省エネルギーモデル温室団地は農業振興に寄与しています。

## Tokyo Electric Power Company : Hachijo-jima Geothermal Genetator Site

In March 1999, for the first time on all remote island in Japan, let alone for Tokyo Electric Power Company, a geothermal generator was put into operation in Hachijo-jima. Since converting subterranean heat into electricity is difficult, the site will use 3300kw as a base in conjunction with an existing diesel generator to supply the electrical needs of Hachijo-jima. Besides, the heat from the power plant is provided for a stretch of agricultural use energy-saving greenhouses. These greenhouses contribute to the development of the agriculture.

## ～クリーンエネルギーのモデル島を目指して～



## ■ 風力発電

平成12年3月地熱発電所の敷地内に風力発電施設が完成し、運転を始めました。出力は500kw。地熱発電とともに風力発電をベース供給とし、内燃力発電熱料の削減を図ることを目的としています。

## 農業用省エネルギーモデル温室団地



### ■ 地熱利用

地熱発電所で発生する熱は農業にも利用されます。八丈島地熱発電所では、生産井から熱水が出ないため、熱供給の熱源はタービンを回した蒸気を凝縮した約40℃程度の温水を用います。熱交換器で温室団地へ送られ、冬場の加温に使われます。平成11年度には省エネルギーモデル展示ハウスも建設されました。

### ■ 温泉利用

平成6年度に掘削(700m)された檜立伊郷名温泉を利用した農業用省エネルギーモデル温室を平成8年度に整備しました。源泉からくみ上げた温泉5トンは貯湯タンクに貯められ、そこから熱交換器へ送られます。熱交換器には循環している水が通り、過熱された状態で各温室へ送られ温風器による加温と地中加温が行われます。

石油資源の枯渇や地球環境問題が盛んに取り上げられている昨今ですが、八丈町では新エネルギー産業技術総合開発機構(NEDO)を誘致して行われた「地熱開発促進調査」(平成元年～3年)をはじめ、「クリーンエネルギーのモデル島を目指して」をキーワードとしてクリーンエネルギーへの取り組みを実施しています。

Lately, the issues of fossil fuel exhaustion and the destruction of the environment have gained more and more notoriety. However, in the town of Hachijo, the New Energy Industrial and Technical Collective island and conducted the Geothermal Development Promotion Survey from 1989 to 1991. Using that as a basis, the NEDO made "Aiming to be the Model Island of Clean Energy" a key phrase, and are testing clean energy methods that are currently available.



# 海洋を 生かす町



イソバナ

八丈島の先人たちは古くから広大な太平洋の領域に雄飛し、その海は私たちに豊かな恵みを与え続けてきました。  
海洋の活用をさらに推し進め、島の経済の活性化を目指します。



カツオ



アオウミガメ



トラウツボ



神湊漁港

# 住民が 主役の町



浜遊び (8月)

## ～心と心がふれあう町～

「住民が中心になり、住民の力に基づき、住民の願いを実現する。」住民主役の町づくりを目指します。



町民体育大会 (10月)



夏祭り (7月)



出初式 (1月)

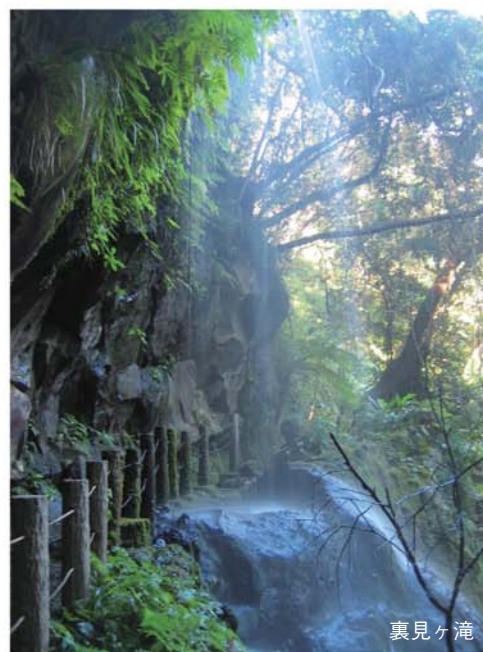
# みどり 豊かな町

～豊かな自然に包まれた快適生活空間～



ふれあい牧場

自然環境を大切に守り、クリーンアイランドを念頭に、生活文化、教育、社会福祉、産業等の基盤整備を進め、自然と調和したみどり豊かな町づくりを目指します。



裏見ヶ滝



乙千代ヶ浜付近



横間道路



空港道路

# あたたかい町

「情け島」と言われてきた八丈島。  
個性の違う人間同士がお互いに尊重し合い、助け合いながら「共に支え合う心」を福祉、保健、医療などすべての施策の基本とし、あたたかい町づくりを目指します。



RAINBOW CUP フットサル大会

# 文化の香り高い町



生涯学習社会の実現を図るため、学校教育、社会教育の振興に努め、文化の香り高い町づくりを目指します。

歴史民俗資料館



シニア体力測定



町立八丈病院



あおぞら保育園

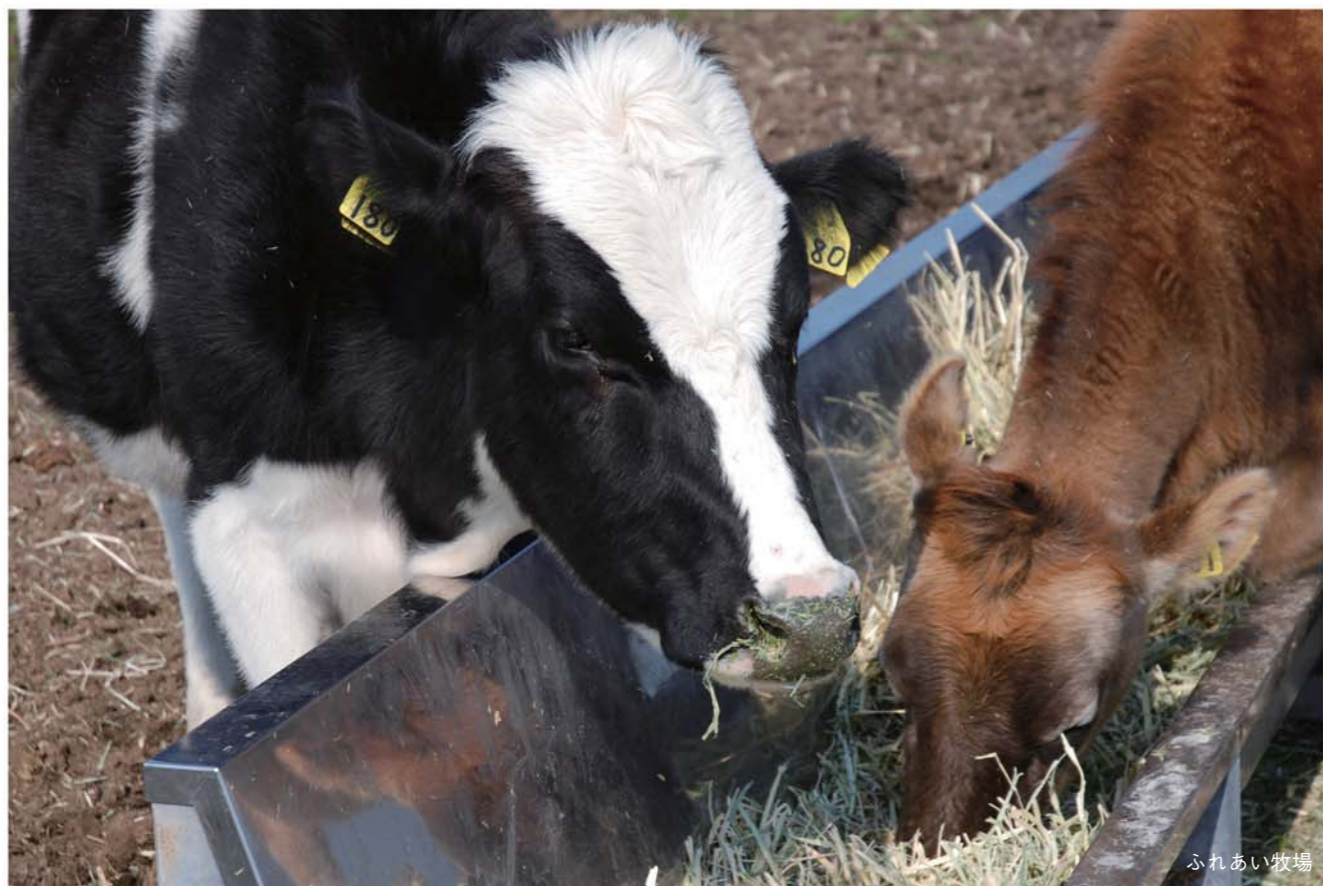


郷土料理教室



八丈島芸能文化交流会

# いきいきとした町



ふれあい牧場



焼酎

産業を振興して地域経済を活性化していくことは、最も重要な課題です。産業基盤の確立を図り、働くことに喜びのあるいきいきとした町づくりを目指します。



田植え体験



産業祭



産業祭



底土港



産業祭

# 明るい町



自治振興委員

住民の町政参加を積極的に展開し、住民と行政が一体となって地域の発展に取り組む明るい町づくりを目指します。



防災訓練



保育園運動会



町役場新庁舎完成予想図



八丈町議会

# 島への交通



八丈島への空路は、東京・羽田空港より全日空のジェット機A320型機(166席)が約45分で結んでいます。また、東京愛ランドシャトルが八丈島を基地にして青ヶ島、御蔵島、三宅島、利島、大島とアクセスしています(毎日就航)。海路は、東海汽船の大型客船「さるびあ丸」または「かめりあ丸」が東京・竹芝桟橋から毎日就航しています。竹芝を夜に出発し、三宅島・御蔵島を経由して約10時間で八丈島に到着します。

## GETTING TO HACHIGO

By air, Hachigo can be reached from Tokyo's Haneda Airport with four 45 minute flights a day in an ANA 166-passenger Airbus 320 jet. In addition, access to Hachigo's neighboring islands, Aogashima, Miyakejima, Toshima, and Oshima, is provided every day by the Tokyo Island Shuttle helicopter. By sea, the Tokai Kisen Ferry, Sarubia-maru or Kameria-maru sails daily from the Takeshiba passenger Terminal in Tokyo. Departing from Takeshiba, the ferry takes 10 hours to reach Hachigo, stopping en route at Miyake-jima and Mikura-jima.

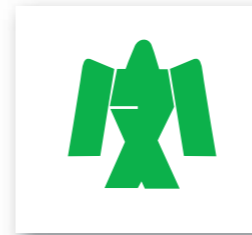
## 八丈島海路の沿革

1910(明治43年)	東京湾汽船会社と八丈島有志代表浮田鉄吉氏、山田喜代吉氏が毎月1回以上の航海契約を結ぶ(芙蓉丸96トン)
1922(大正11年)	5月 八丈丸(345トン)三宅島・八丈島就航。
1925(大正14年)	4月 八丈丸、三根沖で暴風雨のため遭難沈没(船員13名死亡)
1926(昭和元年)	4月 三宅島・八丈島、東京府知事の命令航路となる。
1930(昭和5年)	10月 東京から八丈島寄港、小笠原父島・母島に至る定期航路開始。主として桐丸(531トン)が就航。
1941(昭和16年)	戦時下、桐丸の月6回の就航が萩丸月3回の就航になる。
1945(昭和20年)	戦時下、4月16日東光丸撃沈される(約120名死亡)
1947(昭和22年)	6月 黒潮丸(496トン)東京-八丈島間就航。
1948(昭和23年)	3月 第3旭丸、八丈島藍ヶ江港で遭難。
1957(昭和32年)	東海汽船八丈島代理店を直営に切り替え、八丈島支店を設置。
1965(昭和40年)	8月 神湊港底土岸壁完成、年間通して約90%の接岸が可能となる。
1968(昭和43年)	10月 貨物船弥栄丸(330トン)三宅島・八丈島間に就航。
1971(昭和46年)	6月 ふりいじあ丸(2,286トン)が就航。
1978(昭和53年)	4月 すとれちあ丸(3,708トン)が就航。
1983(昭和58年)	3月 ふじしま丸(149トン)八重根港入港。
2002(平成14年)	5月 さるびあ丸就航。

## 八丈島空港の沿革

1953(昭和28年)	青木航空就航(不定期)
1954(昭和29年)	5月 飛行場開設、青木航空セスナ機就航
1955(昭和30年)	4月 日本ヘリコプター輸送(株)の双発機(11人乗)週2回就航する。
1956(昭和31年)	青木航空が日本遊覧航空と社名変更。 日本ヘリコプター輸送(株)の双発機(11人乗)週4回就航する。
1957(昭和32年)	12月 日本ヘリコプター輸送(株)が全日本空輸(株)と社名変更
1958(昭和33年)	12月 八丈島空港(第3種空港)設置許可。
1959(昭和34年)	日本遊覧航空のヘロン機(15人乗)が就航するようになり、初めてスチュワーデスが乗るようになる。
1960(昭和35年)	6月 全日空DC-3型機(30人乗)が週2回就航する。 日本遊覧航空のヘロン機が名古屋へ就航する。 日本遊覧航空が藤田航空と社名変更。
1961(昭和36年)	5月 八丈島空港供用開始。
1962(昭和37年)	8月 藤田航空ヘロン機、八丈富士に激突19名死亡。
1963(昭和38年)	11月 藤田航空、全日空と合併し、八丈空路は全日空の運行となる。フレンドシップ機(40人乗)就航する。
1969(昭和44年)	4月 YS-11型機(64人乗)就航する。
1972(昭和47年)	6月 滑走路延長1,200mから1,500mへ供用開始。
1973(昭和48年)	3月 名古屋定期路線開始。
1975(昭和50年)	12月 第2次拡張計画決定。
1982(昭和57年)	4月 滑走路1,800m×45m供用開始。 B737型機(126人乗)就航、ターミナルビル供用開始。
1985(昭和60年)	5月 エアーニッポンにYS-11型機路線移管。 11月30日をもって名古屋定期路線休航。
1988(昭和63年)	4月 エアーニッポンにB737型機路線移管。
1989(平成元年)	8月 ヘリコプター第1回試験運行(8/12~8/19) 7月 八丈島-東京間のジェット化促進。 7月 ヘリコプター運航管理事務所及び格納庫完成。 8月 ヘリコプター運航開始。
1993(平成5年)	7月 B737-400型機(170人乗)就航
2000(平成12年)	7月 B737-400型機(170人乗)就航
2004(平成16年)	10月 滑走路2,000m供用開始
2005(平成17年)	10月 エアバス320型機(166人乗)就航
	10月 大島經由便運行
2009(平成21年)	10月 大島經由便廃止

# 町のシンボル



この紋章は「躍進八丈」の意義を表現しています。八丈の文字をそのまま鳥形に意匠することにより、八丈が希求する永遠の平和と未来永劫やむなき進展とを象徴したものです。(昭和32年10月制定)

## TOWN EMBLEM

This emblem symbolizes the rapid development of Hachigo. Arranging the characters for Hachigo into the shape of a bird expresses the desire for both everlasting peace and continued progress.(design adopted October 1957)

## 町の鳥／アカコッコ



日本特有の美しいツグミの一種で伊豆七島と屋久島だけに生息します。翼長平均12センチほどのかわいらしい小鳥で、広葉樹林などに巣を作り昆虫、木の実などを好んで食べます。

## TOWN BIRD Akakokko

A type of thrush indigenous to Japan, it lives only on the Izu island and Yakushima. It is a small, pretty bird with an average wingspan of 12cm; it nests in broad-leaved trees and eats insects, fruits, and berries.

## 町の花／ストレチア



南アフリカ喜望峰が原産地で、学名をストレチア・レギネといいます。ばしょう科に属し、花は葉のつけねから極めて優美華麗な長い花茎を出し、その花の形から「極楽鳥」を連想します。

## TOWN FLOWER Strelitzia Reginae

Originating around South Africa's Cape of Good Hope, it belongs to the plantain family. From the axil it puts out a long-stemmed flower of graceful, splendor, the shape of which gives us its common "bird of paradise".

## 町の木／フェニックス・ロベレニー



和名は「しんのうやし」で、原産はインドシナ。八丈島では大正5年に雌雄2本を移入したのがはじめて、太平洋戦争で一時中断しましたが、戦後、花き園芸が復興するなかで、文字通り「不死鳥」のようによみがえり、世界でも有数の栽培地となりました。

## TOWN TREE Phoenix roebelenii O'Brien

Known in Japan by the name SHINNO YASHI, the tree itself originated in Indochina. Cultivation on Hachigo-jima begin in 1916 with the introduction of a pair of male and female trees. Production was interrupted by WWII, but the postwar revival of the floriculture industry saw cultivation of phoenix roebelenii reborn, like the phoenix of its name. Hachigo-jima is now one of the world's leading producers of Phoenix roebelenii.

## 町の魚／ハルトビ



八丈島のハルトビ漁は、明治時代から盛んに行われ、羽根のあるおめでたい魚として店頭を飾ったものです。ハルトビは鮮魚のほか、塩干し、くさや、燻製などに加工され、土産品として珍重されています。春先になると、産卵のため伊豆諸島南方から島伝いに北上することから、別名「春告魚」ともいわれ、八丈島周辺への回遊が最も多く、漁獲高でも八丈島漁業の重要な地位を占めていました。近年は漁獲高が減り、非常に貴重な魚となりました。

## TOWN FISH Harutobi (Flying Fish)

Popular since the Meiji Era, Hachigo HARUTOBI adorned shop counters as a fish for auspicious occasion. Aside from being used fresh, it is also dried and smoked, being especially prized as a souvenir. Its popular name "Harbinger of spring", comes from the fact that every year in early spring the fish migrate northwards through the Izu islands in order to spawn. The fish was most prevalent around Hachigo-jima, and it occupied a prominent place in the local fishing industry. Recently, however HARUTOBI have become very rare as their numbers have decreased dramatically.

# 交流 ISLAND FRIENDSHIP TIES



姉妹都市

## ハワイ・マウイ郡

昭和39年8月10日マウイ島において姉妹都市提携の調印が行われました。以来、今日まで双方の交流が盛んに行われています。



姉妹島

## 沖縄県南大東島

八丈島民が開拓に成功した南大東島と昭和57年1月23日に姉妹島提携を結びました。1月23日は八丈島からの開拓者が上陸の一步を印した記念日です。



友好都市

## 東京都小笠原村

小笠原諸島返還記念日の昭和63年6月26日に八丈町と小笠原村とが友好都市提携を結びました。また、毎年6月には八丈町からの小笠原親善訪問も行われています。

# 主なできごと2011 HEAD LINE 2011



- 1/4 八丈町消防団出初式
- 1/5 成人祝賀式
- 1/9 第30回八丈島パブリックロードレース
- 1/16 第22回八丈島文化フェスティバル
- 1/22~2/6 ヘルシーフェスタ〈アロエ&あしたば〉in八丈島
- 2/19・20 第6回芸能文化交流会
- 3/31 南海・真砂・末吉保育園閉園
- 4/1 あおぞら保育園開園
- 6/5 クリーンデー
- 7/23~25 第39回八丈島夏まつり
- 8/2・3 八丈島ジュニアベースボールクラシック野球大会
- 8/5 浅沼道徳町長逝去
- 8/7 第15回八丈島浜遊び
- 8/9 團伊玖磨記念八丈島サマーコンサート
- 8/11 八丈島納涼花火大会
- 9/10・11 八丈島 RAINBOW CUP 2011 フットサル大会
- 9/25 山下奉也新町政発足
- 10/5 八丈町防災訓練
- 10/9 第50回町民体育大会(各地域)
- 10/21 八丈町表彰式
- 11/27 第9回八丈島夢伝大会
- 12/4 第15回八丈島高齢者演芸大会



# 八丈島 三つの始祖伝説



八丈島には系統を異にする三種の始祖伝説がある。八十八重姫伝説は、出雲系神話の類型で北方から伝来した内地系文化に属する。徐福伝説は西方から黒潮に乗った大陸系文化が流入したものである。丹那婆伝説は、西太平洋の諸族に広く認められる母子交会の始祖伝説の一類型で南方系文化に脈絡が認められる。一つの島に内地形、大陸系、南方系の三種類の異なった伝説が存在することは、八丈島の位置に関連する特異な文化形成の礎があったと思われる。

ふるさと村

## 秦の徐福

秦の始皇帝が方術士徐福を東海に遣わし、不老不死の霊薬(仙丹)をもとめさせたという伝説がある。中国人渡来の伝説は古くから八丈島にあったものである。秦始皇帝の命を受けた徐福は、東海の島々を訪ねてまわったが、ついにその霊薬を手に入れることはできなかった。徐福は帰国を断念し、孝靈天皇紀元前219年に紀州熊野に着き、この地で生涯を終わったという。徐福に従って来た童男童女は、船に分乗し熊野から四散してふたたび漂流した。この船の一隻は八丈島に漂着したが、それには五百人の童女が乗っており、青ヶ島に漂着した一隻には五百人の童男が乗っていたという。これにより八丈島を女護島、青ヶ島を男島という伝えている。<八丈島誌>

## 八十八重姫

事代主命は三宅島(宮家島)に宮居を定められたがその地で崩じた。妃の一人、八十八重姫は八丈島に渡って古宝丸(許志岐)を生んだ。この二方が八丈島創始の祖であるといわれている。八十八重姫(優婆夷姫ともいう)を祀る優婆夷大明神と古宝丸も祀る宝大明神はともに大賀郷の大里にあり、延喜式に列せられた八丈総鎮守郷社である。<八丈島誌>

## 丹那婆

この伝説を記録した最初の文献は、享和前後の書と推定せられる綜嶼新話である。「いずれの時にやありし、八丈島に沓潮おこりて民戸とも湮没せしが、一妊婦のみ舟の艫にすがりて、大岡郷川口ヶ洞に助命して、一男子を出生し、後に母子交会して類業繁栄す。」と記してある。

現在丹那婆の墓と称されるのは、末吉と大賀郷の二箇所にあるが、もとは三根にもあったようである。<八丈島誌>



八丈島誌

丹那婆の墓

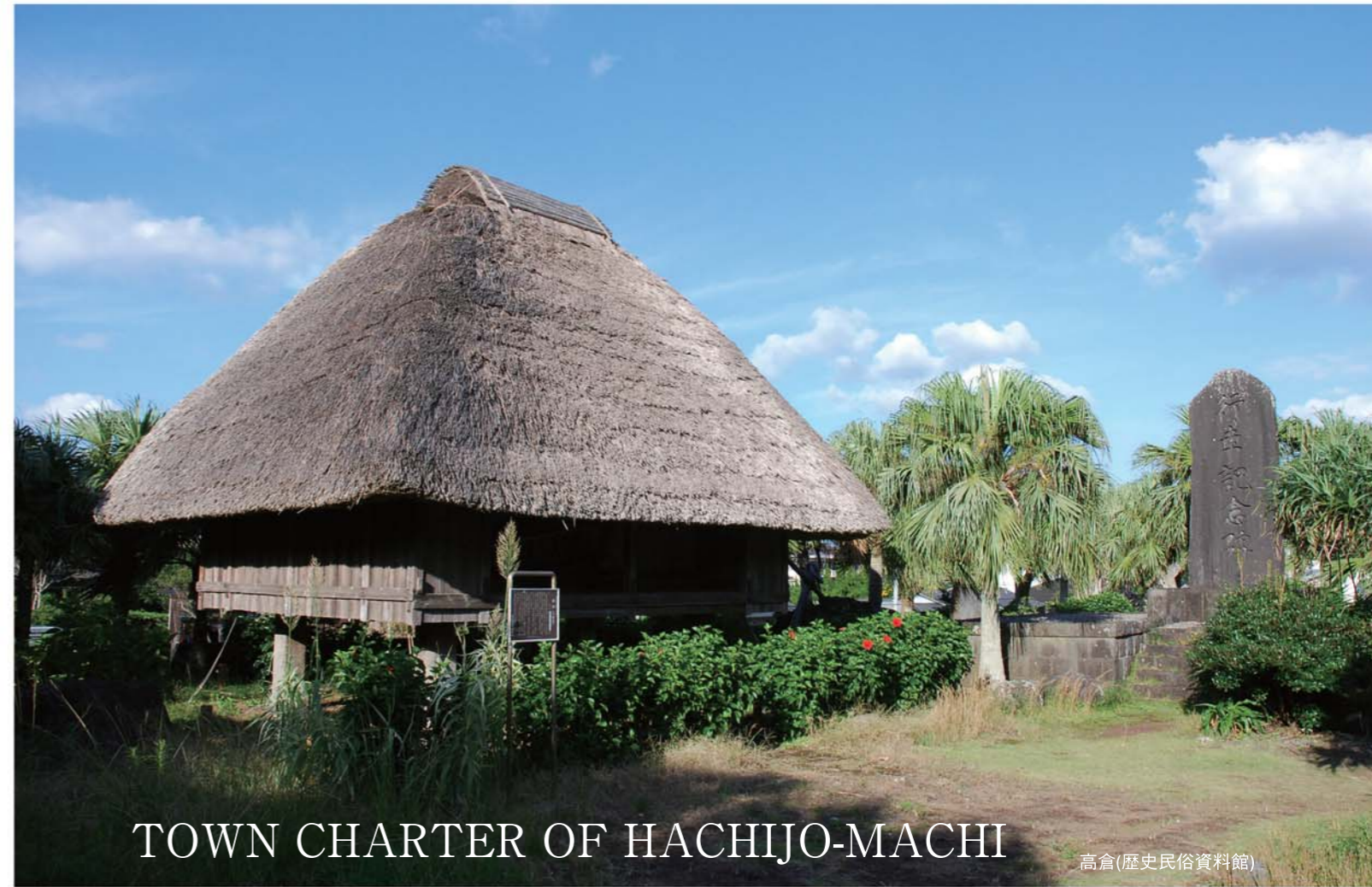
大里の玉石垣

# 町民憲章

青い海原に囲まれた緑の島山の美しい自然と、古い歴史に恵まれたわたしたちは、この八丈島に住むことを誇りとし、八丈町の限りない発展と、明るく平和な町づくりをすすめることを願い、町民ひとりひとりの道しるべとして、この町民憲章を定めます。

## わたしたち八丈町民は

- 郷土を愛し、環境をととのえ、みどり豊かな町をつくりましょう。
- お年寄りを大切に、子供たちが健やかに育つ、あたたかい町をつくりましょう。
- 伝統をとうとび、教養を深め、文化の香り高い町をつくりましょう。
- はたらくことを喜び、産業の発展につくし、いきいきとした町をつくりましょう。
- きまりを守り、互いに助け合い、人情味あふれる明るい町をつくりましょう。



## TOWN CHARTER OF HACHIO-MACHI

高倉(歴史民俗資料館)

We, living on the Island of Hachijo, cannot help but feel fortunate in the bounty and beauty of our mountains, fields and sea. Coupled with the long history of our island, this natural legacy has engendered civic pride and a determination to pursue the development of a bright, peaceful community. It is in this spirit that we have formulated a Town Charter for Hachijo-machi. It will, we trust, serve as a reminder of our community's and goals.

## We the people of Hachijo-machi

- Will strive to create a verdant community by respecting our heritage and preserving the natural environment.
- Will strive to create human community by Caring for the elderly and rearing healthy children.
- Will strive to create flourishing community by maintaining our traditions and widening our cultural horizons.
- Will strive to create stimulating community by finding satisfaction in our work and pursuing new opportunities.
- Will strive to create heartwarming community by meeting our responsibilities and readily lending assistance.